

令和元年度 第1回香美市子ども・子育て会議
会議録要旨

【日 時】 令和元年6月24日（月）18：30～20：00

【場 所】 香美市役所3階会議室

【出席委員】 14名

武内委員、五藤委員、川俣委員、福留委員、森田委員、前田委員、鎌田委員、
嶋村委員、大石委員、近藤委員、酒井委員、竹平委員、日向委員、川俣委員

【欠席委員】 1名

福石委員

【事務局等】 17名

時久教育長、横山課長、原班長、宇根係長、横田主幹、坂本主幹、丸山主事、
明石主監（教育振興課）

濱口班長、中村技幹（健康介護支援課）、竹崎係長（福祉事務所）

岩崎所長、杉原技幹（子育て支援センター）

式地園長、山下園長、宮原副園長（保育所職員）

五百木 麻貴（㈱ジャパンインターナショナル総合研究所）

【傍聴者】 なし

【要 旨】

1. 開会

開会、時久教育長より挨拶。

2. 交代委員紹介、事務局紹介

事務局より委員選出団体の役員改選に伴う委員紹介、事務局等自己紹介、

3. 会議成立報告、資料確認

事務局より会議成立報告、資料確認

4. 議事

(1) 平成30年度香美市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

子ども・子育て支援事業の取り組み状況説明（C評価事業）について事務局等より説明。

〈意見・質疑等〉

○むし歯予防

（委員）ひまわり保育園では早くから虫歯予防に取り組んできました。フッ素洗口について歯科医に聞いてみましたが、薄めたものでも有効だそうです。また、歯磨き粉にも入っているので、フッ素の害は心配しなくていいとのことでした。小さい頃から歯磨きの習慣をつけるためにも、ぜひ保育園、幼稚園でもご無理のない程度で進めていけたら、家庭への啓発も浸透するのではないかと思います。

（委員）県では日本一の健康長寿県構想をつくって、保健福祉の取り組みを進めていますが、その中で子どもの頃からの歯や口の健康づくりを大きな柱として、その中でもフッ素洗口を進めていく方針を打ち立てています。歯をよくするのは、歯

磨きと食生活と歯の質を高めることです。フッ素洗口は歯の質を高めますので、できるところからで構いませんので、歯磨き、食生活、フッ素洗口の3つを整えて進めていけるよう、ご協力をお願いしたいと思います。

○保育所運営の充実

(委員) 職員研修ですが取り組み・成果を見ると研修の回数も人数もたくさんやっている印象を受けますが、それに対して若手職員の増加によって質の向上が課題になっています。回数がこれでも足りていないのか、内容が若手職員に向いていないのか、どうすればよくなるのか見えてきません。

(委員) 新改保育園は小規模で、園児数は50名ほどで職員数も少ないです。その中には若手職員もいます。研修に出た場合は、人の配置と費用の保障をいただいているので参加しやすいと思います。県の教育センターから出張で研修に来ていただく制度もありますので、園内研修を委託しています。外部研修については、近くであれば比較的出やすいです。条件的には一定保障がありますので、園の規模にもよります。

(委員) 保育士の継続的な採用について人事当局へ要望していきます、とのことですが、募集をすれば採用試験を受ける方はたくさん来られるのでしょうか。それとも、求める数に合格者が足りないということでしょうか。

(事務局) 前回の採用試験では、受験者数は分かりませんが、募集人員5名でした。その人数は採用することはできていて、募集人数を割り込むことはここ数年ありません。

(委員) 本当なら5名以上必要ですが、それ以上は雇用できていないということでしょうか。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 保育所運営の充実についても、休日保育についても、引き続き職員の確保に努めるということですが、ここを具体的に消化しないとC評価からアップできないと思います。具体的にどのようにお考えでしょうか。今後の方向性だけで具体性がなければ、このままC評価が続くと思います。

(事務局) 職員の定数があり、定数を超えることはできませんので、人事当局へ要望しているところです。

(委員) 保育所運営の充実のために強力に人事当局をお願いをしないと、改善あるいは評価が上がることはないのではと思います。

(委員) 定数は最低基準を満たしているのでしょうか。

(事務局) 最低基準は満たしています。また、退職補充の人数を新規採用しているので、改善されています。

(委員) 保育士を増やさなければいけないけれど、予算的・人事的な問題等で増やせないという状況ではなく、人がいればどんどん雇いたいということでしょうか。

(事務局) 正職員については、定数もありますので、どんどんという訳にはいきません。臨時も最小限ということにはなりますが基準は上回っておりますし、加配の保育士もつけるようにしております。

(委員) 計画としては、もっと増やさないといい評価にはつながらないということでしょうか。

(事務局) 採用については、退職補充をしているということでクリアできると思いま

す。加配の人数は年度によって変わってきますが、足りないところは採用できるように枠は取っていますので、採用できればクリアできると思います。

- (2) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて
事務局より説明。

質疑なし

- (3) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について
事務局より説明。

〈意見・質疑等〉

(委員) p.9の現在の平日の教育・保育事業の利用状況並びに今後の利用希望、の今後の利用希望では幼稚園の利用希望の割合が高くなっています。潜在的希望なのでしょうか。地域ならではの事情でしょうか。理由が分かれば教えてください。

(事務局) 前回の調査では、利用できる、できないに関わらず利用したい事業を伺った結果、幼稚園の利用希望が現在は10.2%に対して、利用希望は25.4%と高く出ました。今回は10月からの無償化を踏まえて利用したい事業を伺った結果、現在の利用は9.7%ですが利用希望は35.9%になりました。全国的には、無償化になった場合の利用希望は認可保育所が高くなる傾向にありますが、その中で香美市は認可保育所が現状より下がって幼稚園が高くなる傾向にあり、前回から幼稚園の潜在的ニーズがあることが伺えます。明確な理由は難しいところです。

- (4) 第2期香美市子ども・子育て支援事業計画に係る量の見込について
事務局より説明。

〈意見・質疑等〉

(委員) 0歳児のニーズ量が多いですが、実際には働き方改革などで正規職員でも非正規でも、育休を1年取って復職する方が増えていて、0歳児よりも1歳児のニーズが高くなっていると保育の現場では感じています。あれば利用したいと回答していても、実際に選ぶ段階になると0歳児よりも1歳児のニーズがすごく増えています。これから計画を立てていくには考慮して欲しいと思います。

(委員) 放課後児童クラブですが見込みより実績が高かったということですが、これは希望者が全員参加できるのでしょうか。それから、一時預かり事業で【第1期※参考※】の平成27年度は実績が2,431人日/年で次年度は146人日/年、その後は利用者がなしとなっていますが、急激な減り方に理由があるのでしょうか。この2点についてお教えてください。

(事務局) 放課後児童クラブについては、ほとんど利用はできていますが、待機が発生しているクラブが1つあります。

(委員) それは広さとかの関係でしょうか。

(事務局) そのとおりです。一時預かり事業については、確認をして次回の会議で報告させていただきます。

- (5) その他

特になし

5. 次回開催日の調整について
次回の開催日時について確認。
令和元年 8 月 23 日（金） 18:30～
6. 閉会